

平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立乃木小学校）			令和元年9月19日	
(1)学力調査結果から見られた傾向				
	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策		
国語	○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができている。 ○目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にしてまとめて書いたり、文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書いたりすることができる。 ●話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題がある。 ●目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことに課題がある。	・インタビュー等の「話すこと・聞くこと」に関する学習活動を設定し、モデルを参考にして目的に応じた質問の仕方を工夫したり、自分の考えを形成したりすることができるようにする。 ・疑問に思ったことを調べる等の学習活動を設定し、文章の内容を的確に押さえ、必要な情報を見つけ、自分の考えを明確にしながら読むことができるようにする。		
	○四則の混合した整数と小数の計算の仕方を考え、それらの計算を正しくすることができる。 ○図形についての観察や構成などの学習活動の中で、図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質について理解している。 ●小数の除法について、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことについての理解に課題がある。 ●複数の情報の中から必要な数量を選択し、立式することについて課題がある。	・算数の学習活動の中で、計算をする際に、その計算が確実にできるとともに、計算に関して成り立つ性質を活用することで、計算を能率的にするための工夫ができるようにする。 ・学習課題に応じて、必要な情報を条件に当てはまるかどうかを判断できるようにし、算数の学習で身につけた力で表現・処理したり、解決の過程や結果を主体的に振り返り、活用したりすることができるようにする。		
算数				
(2)生活意識調査から見られた傾向				
	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策		
○家庭生活と学校の出来事について会話をしたり、学校生活では教師が子どものよいところを認めている。 ○学習の中で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んだり、自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫することができる。 ●外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいという意欲に課題がある。 ●算数の学習に苦手意識があったり、算数を普段の生活の中で活用しようとする意欲に課題がある。		・外国語活動を核として、外国の言語や文化について体験的に理解を深めたり、外国語による聞くこと、話すことの言語活動のコミュニケーションを図る資質・能力の育成に取り組んだりする。 ・算数等の学習に対して、少人数や習熟度別の指導形態を工夫したり、魅力ある教材づくりに積極的に取り組んだり、キャリア教育を充実させ、一人一人が自立するための資質・能力を形成・向上させたりしていく。		
(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)				
(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと				
・”乃木っ子は、「あたま」「こころ」「からだ」を鍛える”ことを教育目標の柱としており、その柱を中心とした教育活動を展開し、バランスの良い教育を実践していくとともに、乃木小学校のキャッチフレーズである「明日も来なくなる学校」づくりのために、教師・保護者・地域の方の目線で検証をしていく。 ・教育研究として取り組んでいる「自ら考え、伝え合い、学びを深める子どもの育成」を主題とした理科教育の教科研究を中心として、学習における問題解決の能力育成を授業研究を通して取り組んでいく。				
(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)				
【参考】				
○平均正答率				
	本 校	松江市	島根県	全国
国語	70	63	62	63.8
算数	69	66	65	66.6
受検者数 172 人 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。				